

こうぎん Report

第144期 営業のご報告 ミニディスクロージャー誌

2023年4月1日～2024年3月31日



写真：高知銀行ラッピング電車

CONTENTS

ごあいさつ	2
中期経営計画 『地域とこうぎんの「みらい」 第Ⅰ期：展望の共有』	3
サステナビリティへの取り組み	5
トピックス	9
決算の概要	11
株式の状況	13
ネットワーク	14

PROFILE (2024年3月31日現在)

名称	株式会社 高知銀行 THE BANK OF KOCHI, LTD.	
本店所在地	高知市堺町2番24号	
創立	1930年（昭和5年）1月	
預金等	1兆295億円（譲渡性預金を含む）	
貸出金	7,507億円	
資本金	154億44百万円	
自己資本比率	8.31%（国内基準）	
職員数	715名	
店舗数	本支店 （インターネット専用支店 （ランチ・イン・ランチ方式 による店舗統合後の営業拠点	72店舗 1店舗） 60店舗）

<https://www.kochi-bank.co.jp/>
E-mail: kouhou@kochi-bank.co.jp



皆さまには、日頃より私ども高知銀行への温かいご支援、お引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、当行に対するご理解をより一層深めていただきたく、2024年3月期のミニディスクロージャー誌「第144期営業のご報告」を作成いたしました。ご高覧いただければ幸いに存じます。

地域経済は、少子高齢化や生産年齢人口の減少等の構造的な課題を抱えているなか、デジタル化の進展やサステナビリティへの取り組みが高まりつつあるなど、大きな転換期を迎えております。当行は、このような経営環境の変化に柔軟に適応し、地域の持続的な発展のために、地域の事業者さまの「人・事業・財」の調和と、地域で暮らす人々のウェルビーイングの向上を目指すことが、重要な課題であると認識しております。

こうした認識のもと、2024年度よりスタートさせた当行の中期経営計画『地域とこうぎんの「みらい」第1期：展望の共有』では、当行が目指す「みらい」を「地域のわくわくが集まる新世代ターミナル」として掲げ、地域と共に「みらい」へ向かうための各種施策を策定し、役職員が一丸となって取り組んでいるところでございます。

当行はこれからも、「ベスト・リージョナル・コラボレーション・バンク」として地域の発展のために、地域と共に最も汗を流す銀行として持続的に発展していくことを目指してまいりますので、今後とも変わらぬご愛顧とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



2024年6月
取締役頭取

海治勝彦

経営理念

熱意

高知銀行は、限りない熱意をもって、地域の発展と暮らしの向上に貢献します。

調和

高知銀行は、調和のとれた経営をもって、お客さまの信頼に応えます。

誠実

高知銀行は、創意と誠実をもって、お客さまに奉仕します。



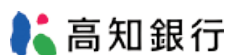
わくわくする「みらい」へ ～地域と共に～

地域とこうぎんの「みらい」 第Ⅰ期：展望の共有

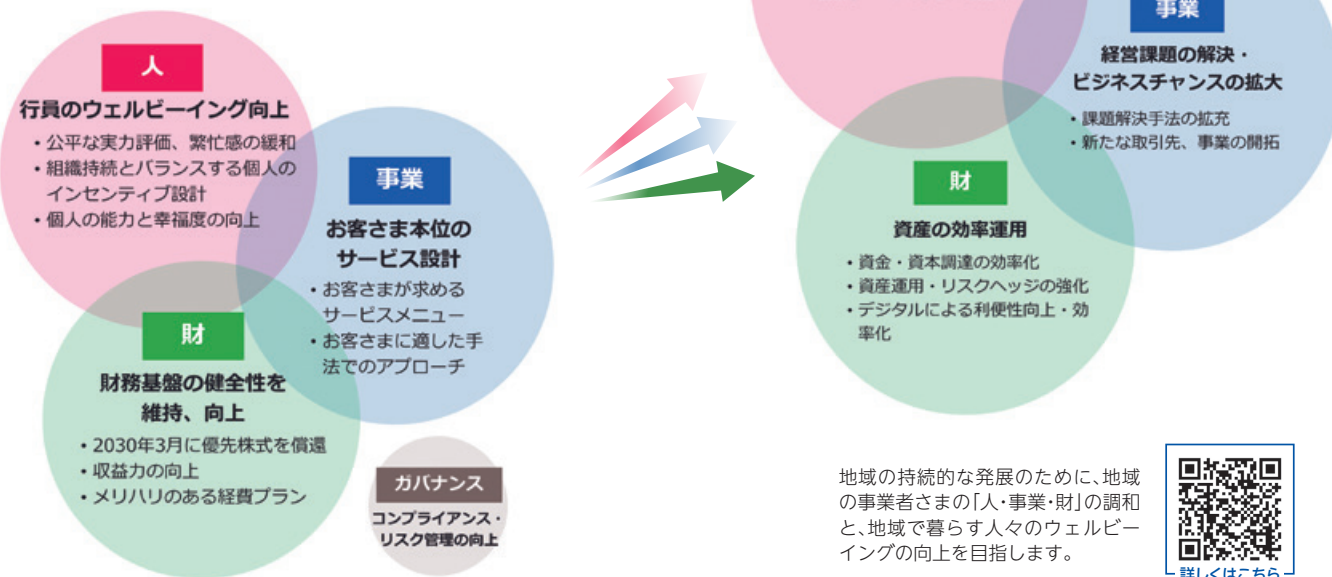
当行は、2018年度から2026年度までの9年間で「こうぎん新創造」の計画期間として取り組んでまいりましたが、内外ともに環境や計画の前提条件が大きく変化したことから、このたび、中期経営計画のフェーズを刷新いたしました。

2024年度から2029年度を『地域とこうぎんの「みらい」』の計画期間とし、当初の3年間で第Ⅰ期「展望の共有」、次の3年間で第Ⅱ期「共に実現」の計画フェーズとして、ステークホルダーからの期待に応えるべく、経営スタイルの変革をより一層進めてまいります。

コンセプト



ベスト・リージョナル・コラボレーション・バンク
地域の発展のために、地域と共に最も汗を流す銀行



詳しくはこちら

こうぎんが目指す「みらい」

みらいへ向かう！
地域のわくわくが集まる
新世代ターミナル

01

Values

こうぎんでこそ提供できる
価値の追求



商流やライフプラン等に対するコンサルティング
機能を強化し、「わくわく＝価値」を提供します



Professional プロフェッショナリズム の深化

02

互いに尊重し合い、学び、成長を実感できる、
お客さまと行員のウェルビーイング向上を目指します

03

Analog/Digital

アナログ/デジタル両面での
金融メディア(媒介)機能強化



“face to face” とデジタルチャネルを融合し
「真っ先に相談してもらえる」銀行を目指します

計画数値 (KGI)

	実 績			計画 (第Ⅰ期)			計画 (第Ⅱ期)
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2029年度
総預金平均残高 (億円)	10,476	10,261	10,272	10,600	10,900	11,100	11,300
貸出金平均残高 (億円)	7,365	7,322	7,328	7,500	7,600	7,650	7,800
有価証券平均残高 (億円)	2,939	3,038	2,968	3,100	3,300	3,500	3,500
コア業務純益 (投信解約損益を除く) (百万円)	2,789	2,149	1,631	1,810	2,500	3,800	5,000
当期純利益 (百万円)	1,534	1,484	1,140	720	1,190	2,090	2,900
顧客向けサービス業務利益 (百万円)	▲772	▲862	▲1,068	▲1,080	▲760	10	800
OHR (コア業務粗利益ベース) (%)	79.1	81.6	83.8	86.4	82.8	75.9	69.5
自己資本比率 (%)	9.5	10.7	8.3	8.7	8.6	8.7	8.0
ROE (当期純利益/株主資本) (%)	2.4	2.1	2.1	1.3	2.1	3.7	5.0

顧客向けサービス業務利益＝貸出残高×預貸金利回り差＋役務取引等利益－営業経費

サステナビリティへの取り組み

株式会社高知銀行グループは、「地域の皆さまとともに歩み、地域とともに発展する銀行」を目指して「熱意」「調和」「誠実」を経営理念として掲げており、この経営理念に基づき策定した以下の基本方針に則り地域の持続的な発展に貢献する取り組みを行ってまいります。



詳しくはこちら

サステナビリティ基本方針

株式会社高知銀行グループは、経営理念に基づく長期的な視点による「地域のために地域と協働する活動」を通じて、地域社会や地域の産業の持続的な発展に貢献するとともに、当行の企業価値の向上を目指します。

1. お客さまや地域の課題解決、産業の活性化に貢献するためコンサルティング機能を発揮します。
2. 環境問題への対応や防災に向けた取組みをサポートし、地域が享受する自然の恵みを守ります。
3. 人権を尊重し、多様なステークホルダーと協働することを通じて社会的な課題の解決に貢献します。

こうぎんSDGs宣言

株式会社高知銀行《こうぎん》は、SDGsの達成に貢献するため、以下の活動を通じて共通価値を育み、地域の持続可能性を高めていくことを宣言いたします。



Regional [地域]

地域が享受する自然の恵みを守るとともに、農林水産業をはじめとするさまざまな産業の活性化に努めます。



Social [社会]

コンサルティング機能を強化し、豊かな暮らしの持続やさらなる発展に向け汗を流します。



Environment [環境]

環境に配慮した活動を推進するとともに、環境保全につながる皆さまの取り組みをサポートします。



Governance [企業統治]

多種多様なステークホルダーと協働することによって、健全な経営を実現します。



ご活用件数190件を突破

法人のお客さまのSDGs達成に向けた取り組みをサポートする「こうぎんSDGs経営支援サービス」を2022年4月より提供しております。

本サービスは、お取引先企業のSDGsへの取組状況を評価して、結果のフィードバックを行うほか、「SDGs宣言書」の策定支援や、ご希望に応じて当行ホームページに掲載しご紹介しております。本サービスの提供を通じて、お客さまの「持続可能な開発目標 (SDGs)」への取り組みを支援しております。



詳しくはこちら

株式会社地域商社こうちが酒米の精米事業を開始

当行グループの子会社である株式会社地域商社こうちは、高知県および高知県酒造協同組合ならびに高知県農業協同組合と「高知県内における酒米の精米事業に関する協定」を締結し、2023年3月に閉鎖されていた高知県内唯一の酒米の精米工場の再稼働に向けて準備を進めておりましたが、このたび「こうち酒米精米工場」として、2024年4月から酒米の精米事業を開始いたしました。

本事業を通じて、土佐酒のブランド力向上に貢献するとともに、土佐酒の文化と伝統の継承を高知銀行グループがサポートしてまいります。



詳しくはこちら



地域の子どもたちを対象としたさまざまな取り組み

地域の子どもたちを対象とした金融教育活動や各種イベントの開催に協力しているほか、「こどもサッカー教室」や文化・芸術活動の支援事業を継続的に実施しております。



こどもサッカー教室



文化・芸術活動の支援～デザイン＆イラストワーク ショップ



金融教育授業

よさこい祭りに参加

地域振興および社会貢献活動の一環として、地元高知のビッグイベント「よさこい祭り」に例年参加しております。



詳しくはこちら



働きがいのある職場づくりへの取り組み

高知県内企業で初めて「プラチナくるみん」の認定を取得

当行は、2007年に、高知労働局より「次世代育成支援対策推進法に基づく基準適合一般事業主」の認定を受け、高知県内企業として初の「くるみん認定」を受けて以来4期連続して同認定を受け、2017年にはより高い水準の取り組みを行った企業として「プラチナくるみん」の認定を受けております。



	これまでの取り組み	認定時期
第1期目	育児関連の充実や有給休暇の取得促進	平成19年8月 (高知県第1号認定)
第2期目	ワークライフバランスへの取り組み	平成22年11月
第3期目	「こども金融・科学教室」や「こどもサッカー教室」「インターンシップ」の開催等、地域貢献活動への取り組み	平成24年10月 (3期連続認定は四国初)
第4期目	育児関連制度の充実や育児休業等取得に向けた取り組み	平成27年3月 (4期連続認定は中四国初)
第5期目	「キャリアリターン制度」の導入や「e-ラーニングシステム」による職場を離れた育児休業者に対して円滑な職場復帰を支援する取り組み	平成29年6月 (「プラチナくるみん」認定は高知県初)

高知県内企業で初めて「えるぼし」の認定を取得

当行は、2017年に、高知労働局より「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づく認定を受け、認定マーク「えるぼし」を取得いたしました。なお、同認定5項目のすべてを満たしていたことから、「えるぼし」の最高位での認定となっております。

また、女性活躍推進に優れた企業として、2021年に3期連続して「なでしこ銘柄」に選定されました。



健康経営を推進

当行は、職員およびその家族の健康が、地域社会の発展と当行の成長に欠かせないことから「健康経営宣言」を制定し、持続的な成長の実現と良質な金融サービスの提供を通じて、健康で活気に溢れた地域づくりに貢献してまいります。

健康経営優良法人2024

当行は、経済産業省および日本健康会議が実施する「健康経営優良法人認定制度」において、2024年3月に「健康経営優良法人2024(大規模法人部門)」に認定されました。同認定は6期連続となります。



スポーツエールカンパニー

当行は、従業員の健康増進のためにスポーツの実施や健康管理に向け積極的な取り組みを行っている企業として、スポーツ庁より「スポーツエールカンパニー2024」に認定されました。

また、当行の認定は5期連続となったことから、通算して5回以上認定を受けた企業として「Bronze(ブロンズ)」に認定されました。



詳しくはこちら

「高知県発ベンチャーファンド」 第2号案件に投資

高知県内高等教育機関発のベンチャー企業等を支援することを目的として、株式会社高知産学連携キャピタルと共同で設立した「高知県発ベンチャー投資事業有限責任組合（高知県発ベンチャーファンド）」は、2024年3月に「サルスサイエンス株式会社」への投資を行いました。

同社は、高知大学医学部消化器内科准教授の谷内恵介氏が推進する膵癌研究から導出された成果を、臨床の現場へ実用化することを目的に設立された企業で、膵癌の早期診断および新しい治療薬の開発に向けた事業を展開しており、新たな膵癌の診断・治療体系の構築を目指しています。

当行はこれからも、本ファンドによる投資等を通じて、高知県内高等教育機関発ベンチャー企業等をサポートしていくことで、新たな産業の創出と、地域経済の活性化に貢献してまいります。



本部組織を改編

お客さまとともに「みらい」を築くサポート体制を整備するため、2024年4月から本部組織を改編いたしました。

◆営業本部を3部体制から2部体制に再編

営業本部内の「地域連携ビジネスサポート部」と「パーソナルサポート部」を統合して「みらいサポート部」を新設し、「営業企画部」との2部体制といたしました。

法人および個人のお客さまに対する担当者間の連携体制の向上を図り、ライフステージに応じた最適なサポートの実現を目指してまいります。

◆「イノベーション推進室」を新設

「みらいサポート部」内に「イノベーション推進室」を設置し、お客さまの事業課題の解決に向けたコンサルティング業務を一層拡充させてまいります。

◆「人事総務部」を新設

「人事部」と「総務部」を統合して「人事総務部」を新設し、業務の効率化を図ってまいります。

新バンキングアプリ 「こうぎんアプリ」のサービス開始

スマートフォン用バンキングアプリについて、従来の「高知銀行アプリ」に代わる新しいアプリとして「こうぎんアプリ」を導入し、2023年10月からサービスの提供を開始いたしました。

本アプリでは、普通預金口座やカードローン口座だけでなく、定期預金口座や各種ローンの残高、入出金明細の照会が可能になったほか、定期預金取引やWeb口座（無通帳口座）への切替え、振替などの機能を搭載するなど、さらにご利用いただきやすくなりました。



[詳しくはこちら](#)



各種情報発信を拡充

SNS公式アカウントを開設し、地域のイベント・観光・特産品・サービスなどの情報や当行のイベント情報など、お客さまのお役に立つ情報やお楽しみいただけるコンテンツなどを随時発信しております。

YouTube



[詳しくはこちら](#)

X(旧Twitter)



[詳しくはこちら](#)

Instagram

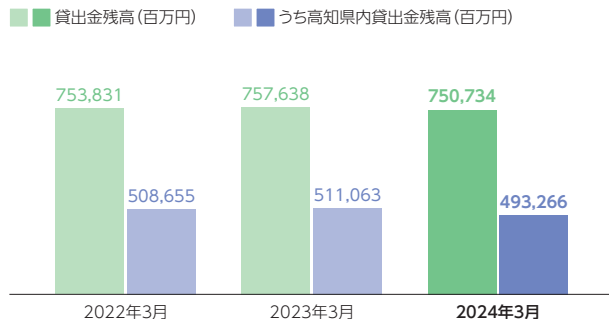


[詳しくはこちら](#)

決算の概要

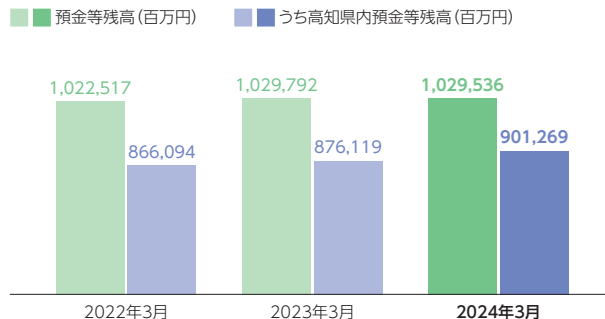
貸出金（単体）

お客さまの事業環境が変化するなか、金融仲介機能を発揮して地域中小企業の資金繰支援やさまざまなニーズに対し真摯に取り組んでまいりました結果、貸出金残高は個人ローンが増加しましたが、それ以外が減少したことから、全体では前期末比69億円減少して7,507億円となりました。



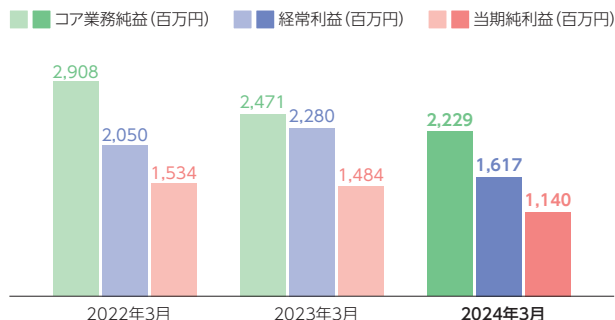
預金等（譲渡性預金含む）（単体）

地域に密着した営業活動を展開しております。こうしたなか、消費活動や設備投資は回復しつつあり、資産運用ニーズの増加等もあって、預金等残高は前期末比2億円減少して1兆295億円となりました。



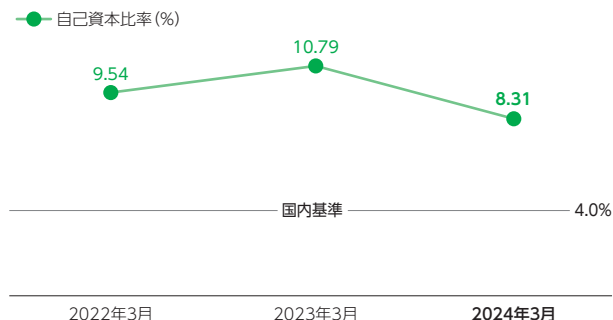
コア業務純益・経常利益・当期純利益（単体）

地域に密着した営業活動を展開し、業績の向上と経営体質改善強化に努めた結果、コア業務純益は22億29百万円、経常利益は16億17百万円、当期純利益は11億40百万円となりました。



自己資本比率（単体）

経営の健全性の重要な指標とされる自己資本比率は、前期末比2.48ポイント低下して8.31%となりました。これは、2023年3月に第三者割当増資を実施しておりますが、2023年9月に公的資金を完済したことでコア資本が減少したことによるものです。

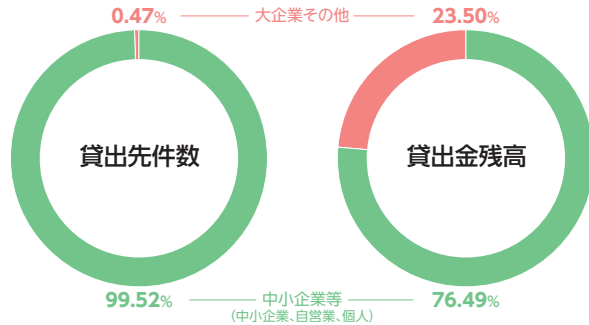


金融再生法開示債権およびリスク管理債権の状況

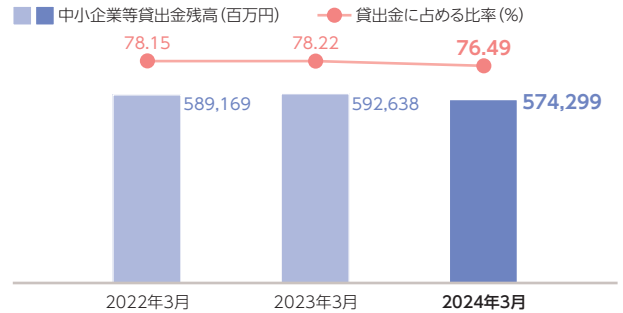
金融再生法開示債権およびリスク管理債権の合計は、前期末比4億1百万円増加して319億46百万円となり、総与信額に占める比率は前期末比0.08ポイント上昇して4.15%となりました。

中小企業等に対する貸出金（単体）

中小企業等に対する貸出金の比率（2024年3月末）

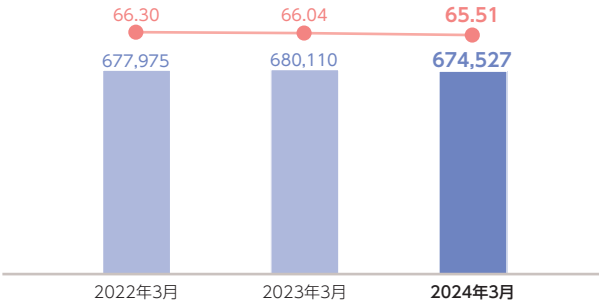


中小企業等に対する貸出金残高の推移



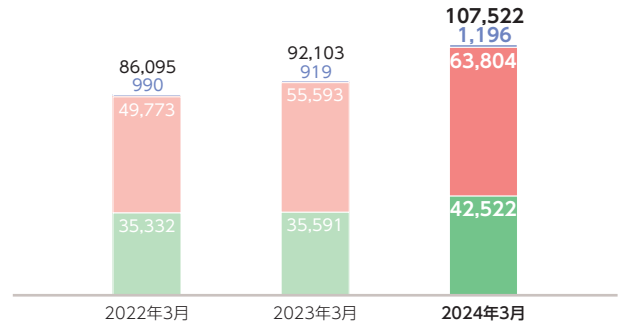
個人預金の推移（単体）

個人預金残高 (百万円) 個人預金比率 (%)



預り資産の推移（単体）

投資信託 (百万円) 生保窓販 (販売累計額) (百万円) 国債 (百万円)



株式のご案内

1 事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

2 配当金受領株主確定日

3月31日および中間配当を行うときは9月30日といたします。

3 定時株主総会

毎年6月に開催いたします。

4 基準日

毎年3月31日の株主名簿に記載または記録された議決権を有する株主をもって、定時株主総会において権利を行使することができる株主といたします。

その他必要があるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。

5 単元株式数

単元株式数は100株であります。

6 株主名簿管理人等

- (1) 株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- (2) 株主名簿管理人
事務取扱場所
大阪府中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社
証券代行部
☎ 0120-782-031
受付時間9:00～17:00(土日休日を除く)
- 郵便物の送付先
- 電話照会先

7 公告方法

公告方法は、電子公告といたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞および高知市において発行する高知新聞に掲載いたします。

なお、当行ホームページアドレスは<https://www.kochi-bank.co.jp/>です。

8 単元未満株式の買取・買増請求制度について

当行では、「買取請求制度」「買増請求制度」のご利用が可能となっております。

証券会社をご利用の株主さまは、お取引の証券会社へお申し出ください。

証券会社をご利用でない株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行へお申し出ください。



詳しくはこちら

株式の状況 (2024年3月31日現在)

普通株式	
発行可能株式総数	40,900,000株
発行済株式の総数	10,244,800株
株主数	5,699名
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場
証券コード	8416
第2種優先株式	
発行可能株式総数	1,000,000株
発行済株式の総数	680,000株
株主数	27名

1 大株主の状況 (普通株式)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
技研ホールディングス株式会社	865	8.51
高知銀行持株会	469	4.61
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	371	3.65
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	364	3.58
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	288	2.84
日色隆善	214	2.10
四国総合信用株式会社	206	2.02
藤岡義久	188	1.84
株式会社技研製作所	169	1.66
株式会社ヨンキュウ	167	1.64

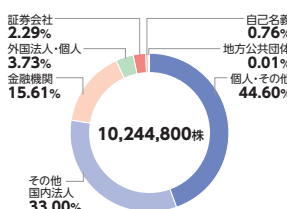
(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式(77,687株)を控除のうえ算出し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

1 大株主の状況 (第2種優先株式)

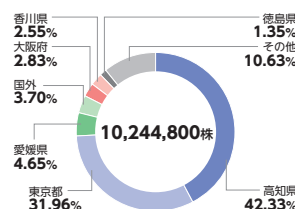
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社愛媛銀行	50	7.35
株式会社香川銀行	50	7.35
株式会社高知丸高	50	7.35
ダイコー通産株式会社	50	7.35
株式会社徳島大正銀行	50	7.35
株式会社ヨンキュウ	50	7.35
株式会社エス・ケー・ケー	30	4.41
株式会社技研製作所	30	4.41
北村商事株式会社	30	4.41
株式会社大東銀行	30	4.41
株式会社社 轟組	30	4.41

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

1 株式所有者別分布 (普通株式)

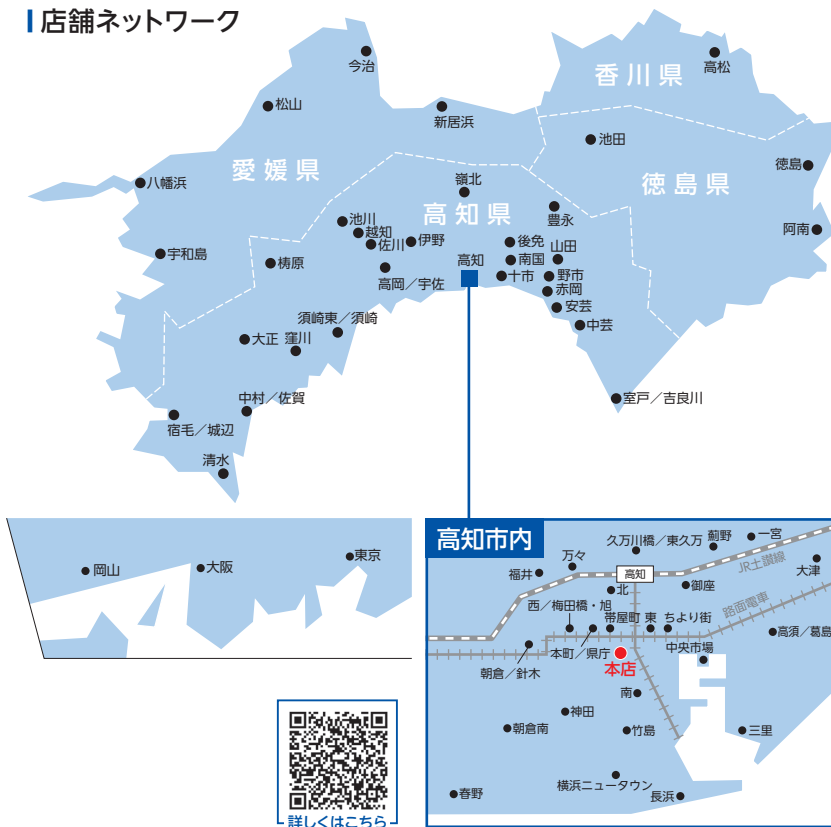


1 株式地域別分布 (普通株式)



ネットワーク (2024年3月31日現在)

店舗ネットワーク



ご相談窓口

住宅ローンなど各種ローンのご相談・お申込み

お問い合わせ ☎ 0120-712-362

■こうぎんローンセンター

高知市堺町5-15 (高知銀行本店南側)

営業日・営業時間

平日 午前10:00～午後 7:00

日曜日 午前10:00～午後 5:00

※日曜日が祝日の場合も営業いたします。

※休業日: 土曜日、日曜日以外の祝日、年末年始、5月の連休

各種ローンや資産運用等に関するご相談・お申込み

お問い合わせ ☎ 0120-077-085

■こうぎん相続&暮らしのサポートプラザ

高知市帯屋町二丁目2-14 OKAMURA帯屋町ビル3階

営業日・営業時間

平日 午前10:30～午後 7:00

※休業日: 土日祝日、年末年始、5月の連休

お問い合わせ ☎ 0120-501-235

■こうぎん久万川橋プラザ

高知市塩田町12-3 (高知銀行久万川橋支店北隣)

営業日・営業時間

平日 午前 9:00～午後 5:00

土日祝日 午前10:00～午後 5:00

※休業日: 年末年始、5月の連休

お問い合わせ ☎ 0120-007-115

■旭コンサルティングプラザ

高知市旭町三丁目92

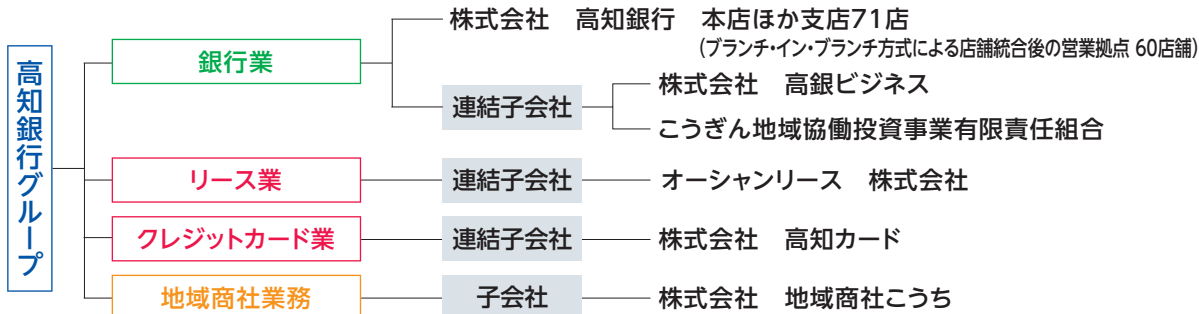
営業日・営業時間

平日 午前10:00～午後 6:00

※休業日: 土日祝日、年末年始、5月の連休

高知銀行グループ

高知銀行グループは、当行および連結子会社4社ならびに子会社で構成され、銀行業務を中心に、リース業務、クレジットカード業務、地域商社業務などの事業を行っております。





THE BANK OF KOCHI, LTD.

〒780-0834 高知市堺町2番24号

TEL.088-822-9311 (代表)

<https://www.kochi-bank.co.jp/>



詳しくはこちら